

国際学部

国際教養学科

国際学部での学び

国際学部では、グローバル化社会で起こるさまざまな事象を理解し、自分に何ができるかを考える人を育てます。日本と東アジアに軸足を置きつつ、世界を幅広く視野に入れること、言語・文化・社会の多様性を学び、解決すべき課題を発見することを重点に学びます。出身国や専門分野の違いを越えて、複数の言語を使いながら協力する教員たちに接することで、グローバル化社会の縮図のような、国際を身近に感じられる環境を提供します。

言語を“使える”レベルをめざす

英語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを3年間継続して学び、実践力を身につけます。また、3系統の専門科目から興味に合わせて選択でき、日本語教員基礎資格も取得できます。

国際学部をもっと知る



Admission Policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
2. 国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際化に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
3. 高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



国際学部 国際教養学科



Department of International Studies

理念・目標

英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれか、並びに国際化を意識した日本語の運用能力を高めて、異なる背景を持つ人々との意思疎通手段を増やし、グローバルな問題や動向に配慮しつつ、ローカルコミュニティ(在住地域や所属組織など)に積極的に貢献できる「よき地球市民(Good Global Citizen)」を育成する。

言語と多文化共生

言語や文化の比較を通して日本語と日本文化を相対的に理解し、言語と社会の関係や多文化共生について考察します。また、言語政策や日本語教育についても学びます。

東アジア研究

中国、韓国・朝鮮、そして日本が互いの関係性の中で辿ってきた道や現在抱える問題を理解します。また、文化を通じた良き隣人としての新しい関係性構築について考えます。

グローバルスタディーズ

国際関係の成り立ちや国際ビジネスの現場において生じる問題を理解し、日本や世界が直面する問題への対処法を考えることができる能力を身につけます。

専門分野

専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
基幹科目	国際学概説	異文化体験演習A(外国人支援) 異文化体験演習B(インターンシップ)	国際学演習Ⅰ・Ⅱ	卒業演習Ⅰ・Ⅱ
専門外国語科目	第1類 総合英語ⅠA・ⅠB 英語リーディングセミナーA・B 英語コミュニケーションセミナー 英語ディスカッションセミナー 初級中国語A・B 実践中国語ⅠA・ⅠB 初級韓国朝鮮語A・B 実践韓国朝鮮語ⅠA・ⅠB			
	第2類	総合英語Ⅱ 英語ライティングセミナー 英語プレゼンテーションセミナー 英語で学ぶ時事問題 英語で学ぶ日本の社会と文化	中級中国語A・B 実践中国語ⅡA・ⅡB 中級韓国朝鮮語A・B 実践韓国朝鮮語ⅡA・ⅡB	ビジネス英語 日英翻訳実践 英語検定試験研究 上級中国語A・B
第1類 多文化共生	日本語のしくみ 日本語学Ⅰ	日本語学Ⅱ 異文化コミュニケーション論 比較文化論 ジェンダーと言語	モノと宗教 社会言語学 共生言語学 比較言語論Ⅰ Topics in Japanese Linguistics	比較言語論Ⅱ 言語習得論 言語政策論 言語とテクノロジー Topics in Japanese Culture World Englishes World Religions Popular Culture Studies Understanding Multiculturalism
	第2類 東アジア研究	中国語圏の言語と文化 中国語圏文化論 近現代中国の歴史と社会 現代中国の諸問題	東西文明交流Ⅰ・Ⅱ 朝鮮半島の文化と歴史Ⅰ・Ⅱ 東アジアと植民地支配 越境と移民	現代韓国の諸問題 社会的マイノリティと差別 China in Global Context Two Koreas in Global Context Contemporary Korean Culture Japan in Global Context
第3類 グローバルズ	グローバル政治論Ⅰ・Ⅱ ナショナリズム論 グローバルズとナショナリズム 会計の世界史	震災とリスクマネジメント グローバル経済Ⅰ・Ⅱ グローバルトピックス International RelationsⅠ・Ⅱ	開発と政治 平和論 グローバルビジネスと会計情報Ⅰ・Ⅱ Understanding Global SocietyⅠ・Ⅱ Global Business Case StudiesⅠ・Ⅱ Contemporary Political Issues	

Topics 学科の特色1

世界中の多様な立場になりきって議論！ 真の国際人への素養を培う

環境、平和、人権など世界のトピックをグローバルな視点から考え、議論し、英語で意見交換する実践的授業。「日本の大学生」というアイデンティティから抜け出し、架空の役割になりきってシミュレーションすることで、世界の人々の立場を疑似体験します。文法の間違いを指摘することより、相手の目を見て堂々と意見を述べることを重視し、実際に学生は回を重ねることに自信を深めていきます。ユニークな授業方式やタイムリーな話題提供は、国際関係を専門とし海外での指導経験も豊富な教員ならではの、真の国際人としての素養を培います。



Topics 学科の特色2

韓国・朝鮮に関わる研究者多数 教室の外にも広がる学びの場

東北地方の企業の取引相手は、アメリカに次いで中国、台湾、韓国の企業です。そして最も足りないのがそれらの国の言語を駆使する日本の若き人材です。国際学部は中華圏や朝鮮半島に関連した専門的科目が充実しているのが特徴で、特に、朝鮮半島にルーツをもつ教員や韓国・朝鮮に関連する研究で活躍する教員が多数います。この強みを活かし、教室の外に出て仙台の韓国総領事館を訪問したり、韓国留学生との交流や韓国からの訪問団のおもてなしを実現できるのが本学科の魅力です。韓国語や韓国文化を知りたい、朝鮮半島と日本の関係について深く学びたいという方には最適の専門科目が揃っています。



More Topics



英語「で」世界を知り、学び、話し、考える 刺激的な毎日が自信をくれた

2年 高橋 愛理彩 さん
(宮城県/仙台二華高等学校出身)

英語を学ぶというより、英語「で」世界を知り、学び、話し、考えるのが本学科の特長だと思います。英語は目的ではなく手段だと知りました。毎日が刺激的で、大学へ来るのが楽しみです。特に好きな授業は「インターナショナル・リレーションズ」で、SDGsや紛争、貧困など多岐にわたるトピックを英語で話し合います。「ジェンダー論」では「ジェンダーは男女ではなく、グラデーション」という先生の言葉に目を見開かされる思いがしました。毎回、新たな視点や考え方を与えてもらっています。

自主ゼミやイングリッシュ・カフェなど、授業以外にも多くの学びの場があることも魅力。たくさん英語を話すことで自信が付き、2年次の夏には語学留学にも挑戦できました。以前の自分からは想像できないほど積極的になれたのは、本学科に入ったおかげだと思います。



NEXT

続きはこちら

